

ISO 9001
認証取得

shindaiwa

取扱説明書

チッパーシュレッダ CSE80-DW4R

⚠ 注意


安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。


新タイワ互業株式会社

はじめに

このたびは、新ダイワのチップーシュレッダをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、搭載エンジンについては、別冊のエンジン取扱説明書をあわせてお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書及び別冊のエンジン取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行なってください。
- 本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。
- 用途 : 樹木・野菜茎など、植物専用の粉碎機です。(ツル、草等は処理できません。)
- この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

 **警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

 **注意**：取り扱いを誤ると、中程度の障害や軽傷を負う可能性がある場合、および、および、物的損害が発生する可能性がある場合。

注意事項：安全のための具体的内容、および本機の保護と本機の性能を十分に発揮させるための注意。

- 注意事項に記載した内容も、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目次

	(頁)
1. 安全上の注意	1～2
2. 仕様	3
3. 各部の名称とはたらき	4
4. シール貼付位置	5
5. 運転操作	6～9
6. 各部の調節・操作	9
7. 整備・点検・清掃	10～12
8. 保守	12
9. こんなトラブルが起こったら	13

1. 安全上の注意

警告：走行時の安全

- 排気ガス中毒に注意すること
 - ・エンジンの排気ガスには、有害な成分が含まれています。
 - ・室内、トンネルなどの換気の悪い所では、運転しないでください。

警告：作業時の安全

- 回転刃物に注意すること
 - ・チップパーホッパーに木材を押し込む時、ガードより奥に手を入れないでください。
 - ・運転中は、排出口に手や足を近づけないでください。
- 巻込まれに注意すること
 - ・シュレッダーホッパーに剪定枝葉を投入する時、送りローラーに手を近づけないでください。
 - ・網手袋（軍手）など、引っかかりやすい物を着用しないでください。
 - ・運転中は、駆動ベルトに手や足を近づけないでください。

注意：走行時の安全

- 走行時に注意すること
 - ・急発進をしないでください。衝突の危険がありますので、周囲の安全を確認して低速で発進してください。
 - ・坂道や凸凹、カーブの多い道路では高速運転をしないでください。転倒したりして大変危険です。
 - ・やわらかい路面・凸凹の路面での走行は、本機の姿勢が大きく変化したり、ハンドルが跳ね上げられたりしますので注意してください。
 - ・走行時はハンドルから手を離さないでください。
 - ・後進は足元に注意し、転倒したり、本機にはさまれたりしないように後方をよく確認し、低速で運転してください。
 - ・本機に乗って走行、および作業をしないでください。
 - ・坂道ではサイドクラッチレバーを使わないでください。サイドクラッチレバーを使った方の車輪がニュートラル状態になり逆旋回する場合があります。
 - ・旋回はハンドルを振って行なってください。
- トラックなどへの積み降し時に注意すること
 - ・平坦で安全な場所でトラックなどが移動しないように、エンジンを止めサイドブレーキ及び車止めをしてから行なってください。
 - ・トラックの荷台の積み降しは、積み込みは前進で、積み降しは後進でサイドクラッチレバーを使わず低速運転で行なってください。
 - ・本機を吊り上げて積み降しする場合は、ハンドルで吊り上げると、ハンドルが外れて落下することがありますので、本機を吊り上げるときは、必ず吊り金具を使用してください。
 - ・積載積込時点で必ず本機のブレーキをかけてください。

⚠ 注意：作業前の安全

- 作業の前に注意すること
 - ・ 破碎作業は必ず平坦な場所で行なってください。やむなく傾斜地に置く場合は車輪に車止めをしてください。
 - ・ 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、ブレーキを必ずかけ、車輪には必ず車輪止めをしてください。
 - ・ 排出口の方向は人や動物に向けないでください。
 - ・ 排出口をのぞいたり近寄ったりしないでください。破砕片が飛んで障害事故になることがあります。

⚠ 注意：作業中の安全

- 作業時に注意すること
 - ・ 走行しながらの作業は危険ですので、絶対にしないでください。
 - ・ 作業中は破砕片が飛散します。目を守るために保護めがねを着用してください。また、作業員以外の人や動物を作業領域に近づけないでください。
 - ・ 停止中、作業中、機械から離れる時は本機を安定した場所に置き、エンジンを停止し、ブレーキをかけ車輪をロックしてください。
 - ・ 運転中は本機に付いているカバー類を外さないでください。カバーを外して運転すると回転部が体に触れたり、巻き込まれて障害事故につながります。
 - ・ カバーが変形したりシールがはがれた時は、必ず交換してください。

⚠ 注意：整備作業の安全

- 整備作業時に注意すること
 - ・ 本機の点検・整備・掃除をする時には、必ずエンジンを停止してから行なってください。回転部に巻き込まれて傷害事故につながります。
 - ・ 刃物の点検や研磨・交換は厚手の革手袋を着用して行なってください。刃物に手が触れて傷害事故につながる場合があります。

⚠ 注意：その他安全上の基本的事項

- 本機は子供、過労ぎみの人・使い方を知らない人・飲酒している人・妊娠している人・体の不自由な人は使用しないでください。
- 作業は作業しやすい袖、裾のしまった作業服、滑らない靴、帽子、革手袋を着用してください。
- 作業中は、適度な休憩をとるようにしてください。
- 二人以上で作業する時は、安全のため合図を決め、声をかけ合って作業をしてください。
- 本機を他の人に貸すときは、取扱方法をよく説明し「取扱説明書」を読むように指導してください。

⚠ 注意：作業前の安全

- 作業の前に注意すること
 - ・ 破碎作業は必ず平坦な場所で行なってください。やむなく傾斜地に置く場合は車輪に車止めをしてください。
 - ・ 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、ブレーキを必ずかけ、車輪には必ず車輪止めをしてください。
 - ・ 排出口の方向は人や動物に向けないでください。
 - ・ 排出口をのぞいたり近寄ったりしないでください。破砕片が飛んで障害事故になることがあります。

⚠ 注意：作業中の安全

- 作業時に注意すること
 - ・ 走行しながらの作業は危険ですので、絶対にしないでください。
 - ・ 作業中は破砕片が飛散します。目を守るために保護めがねを着用してください。また、作業員以外の人や動物を作業領域に近づけないでください。
 - ・ 停止中、作業中、機械から離れる時は本機を安定した場所に置き、エンジンを停止し、ブレーキをかけ車輪をロックしてください。
 - ・ 運転中は本機に付いているカバー類を外さないでください。カバーを外して運転すると回転部が体に触れたり、巻き込まれて障害事故につながります。
 - ・ カバーが変形したりシールがはがれた時は、必ず交換してください。

⚠ 注意：整備作業の安全

- 整備作業時に注意すること
 - ・ 本機の点検・整備・掃除をする時には、必ずエンジンを停止してから行ってください。回転部に巻き込まれて傷害事故につながります。
 - ・ 刃物の点検や研磨・交換は厚手の革手袋を着用して行ってください。刃物に手が触れて傷害事故につながる場合があります。

⚠ 注意：その他安全上の基本的事項

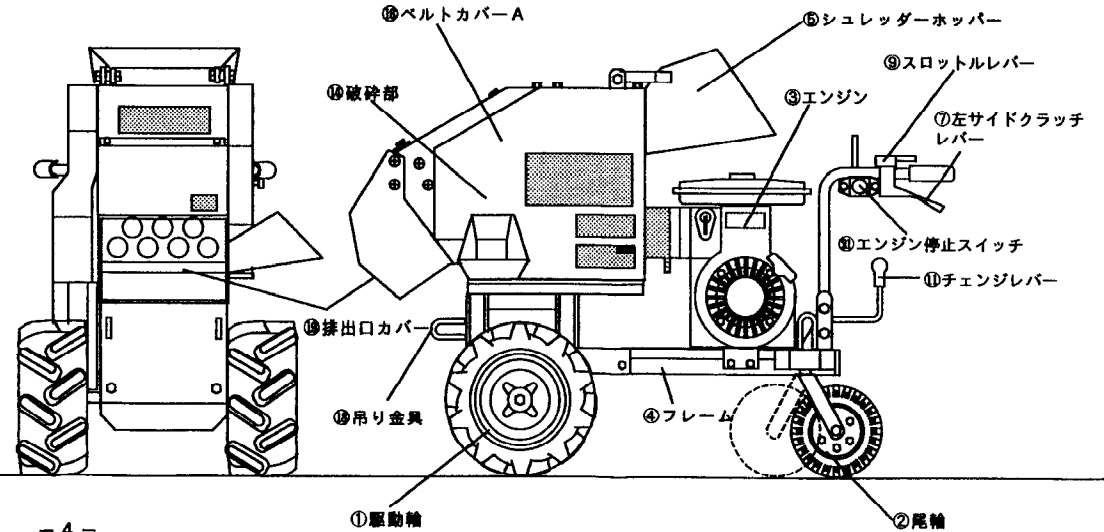
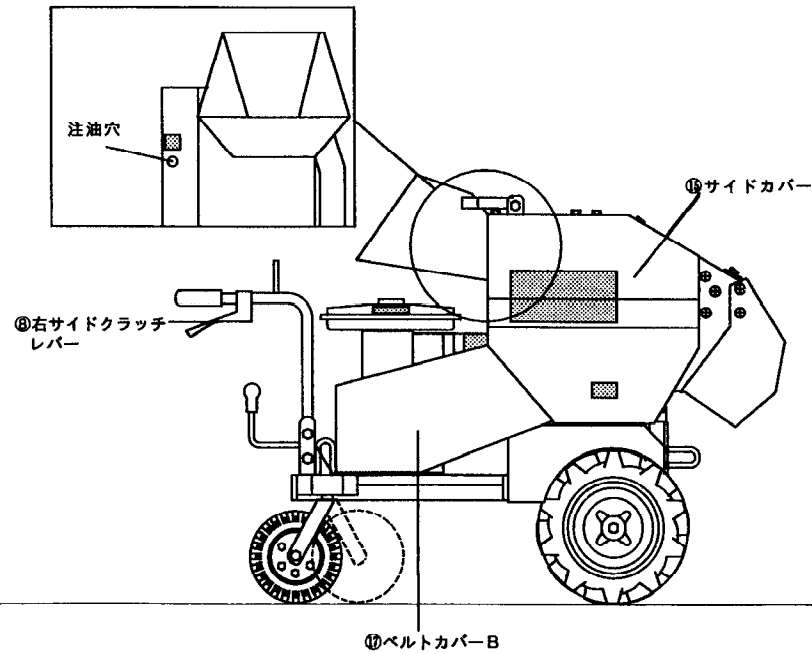
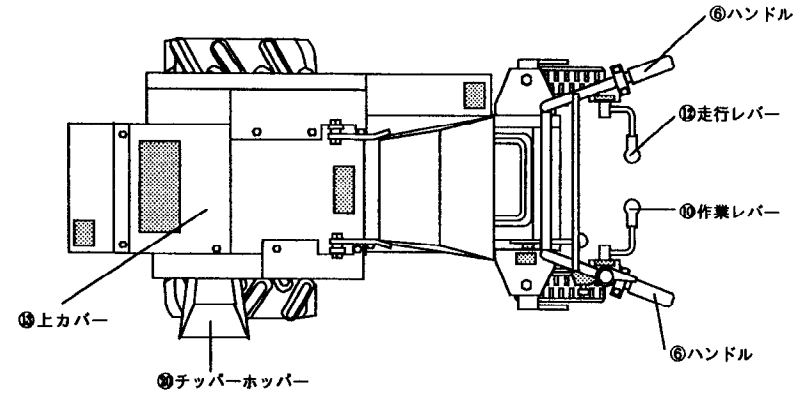
- 本機は子供、過労ぎみの人・使い方を知らない人・飲酒している人・妊娠している人・体の不自由な人は使用しないでください。
- 作業は作業しやすい袖、裾のしまった作業服、滑らない靴、帽子、革手袋を着用してください。
- 作業中は、適度な休憩をとるようにしてください。
- 二人以上で作業する時は、安全のため合図を決め、声をかけ合って作業をしてください。
- 本機を他の人に貸すときは、取扱方法をよく説明し「取扱説明書」を読むように指導してください。

2、仕様

	型 式	CSE80-DW4R		
外形寸法	全 長 mm	1,475		
	全 幅 mm	700 (タイヤ幅660)		
	全 高 mm	1,000		
	乾燥質量 kg	160		
破 碎 装 置	破 碎 方 式	フリースイングハンマー&チップーカッター		
	主軸回転数 min^{-1}	2,600		
	処理能力 $\text{kg/h}(\text{m}^3/\text{h})$	400~550(1.5~2.0)		
	チップー部	ナイフ数	2	
		最大処理径 mm	Max 65	
	シュレッダ部	ハンマ数	32	
最大処理径 mm		Max 40		
供給方式		自動送りローラー		
走 行 装 置	方 式	自走		
	変 速	前進 1段	後進 1段	
	走行速度 km/h	前進 (3.04)	後進 (3.04)	
	ブレーキ	無拵式		
	移動車輪	駆動輪	AG ϕ 400×2	
		後 輪	ϕ 250-40×2	
	最大登はん角度	24°		
エ ン ジ ン	名 称	空冷4サイクル立形OHV式ガソリンエンジン		
	形 式	ロビン EH25-2B		
	シリンダ数-内径×工程 mm	1-75×57		
	総排気量 mL	251		
	定格出力 kW(PS)/ min^{-1}	4.7 (6.4) / 1,800		
	最大出力 kW(PS)/ min^{-1}	5.9 (8.0) / 1,800		
	最大トルク N·m(kgf·m)/ min^{-1}	33.1 (3.38) / 1,300		
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量 L	約6.0		
	燃料消費率 g/kW·h(g/PS·h)	310 (230)		
	使用潤滑油	純正オイル又は自動車用エンジンオイル SAE#20~#30 SCクラス以上(寒冷時SAE10W-30)		
	潤滑油量 L	約1.0		
	点火方式	無接点式マグネット点火		
	始動方式	リコイル式		
	減速方式	1/2カム軸		
	エアクリナー方式	半湿式		
	乾燥質量 kg	24		
	気化器	フロート式		
セット回転 min^{-1}	高速	1,900±50		
	低速	700±50		

3. 各部の名称とはたらき

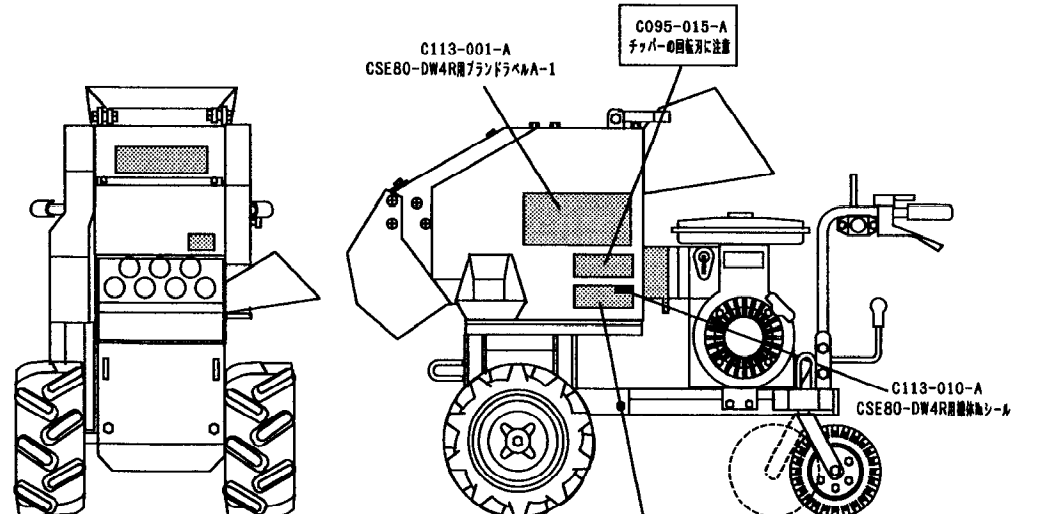
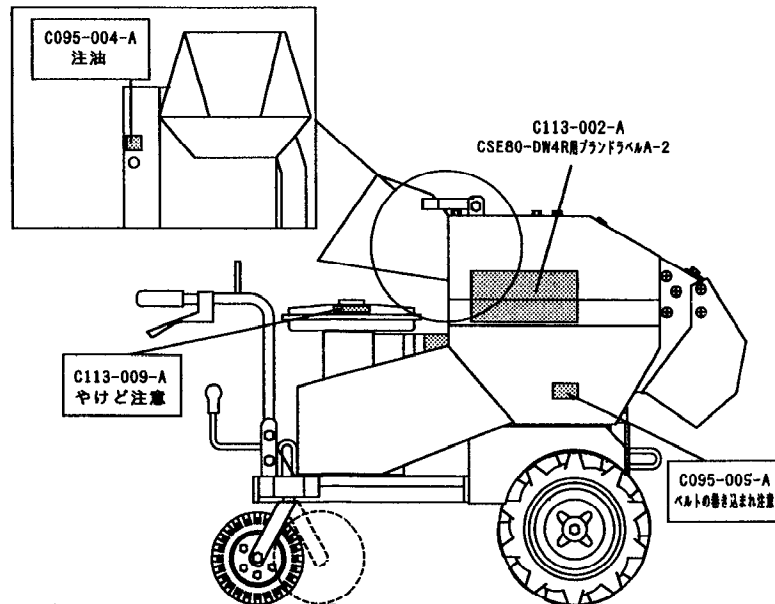
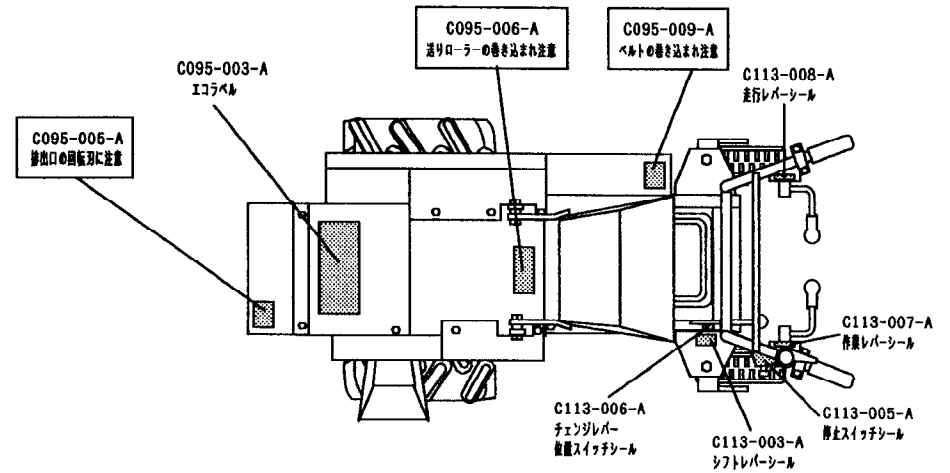
名称とはたらき			
① 駆動輪		⑬ 上カバー	このカバーを外して、内部の掃除をします。
② 尾輪		⑭ 破砕部	本体のこの中にフリーハンマーとチップカッターがあります。
③ エンジン		⑮ サイドカバー	
④ フレーム		⑯ ベルトカバー-A	安全用のカバーです。中にベルトとプーリーがあります。
⑤ シュレッダーホッパー	供給物の供給を行ないます。	⑰ ベルトカバー-B	
⑥ ハンドル		⑱ 吊り金具	本機を吊り下げてトラックの荷台等に積むときに使います。
⑦ 右サイドクラッチレバー	走行時に握ると握った側へ旋回します。	⑲ 排出口カバー	
⑧ 左サイドクラッチレバー		⑳ チップホッパー	太い枝をここから供給します。
⑨ スロットルレバー	エンジンの回転数を調整します。	㉑ エンジン停止スイッチ	このスイッチでエンジンを止めることができます。
⑩ 作業レバー	「入」にするとカッター部への動力を伝達します。		
⑪ チェンジレバー	「前進」「後進」の方向を切り換えます。		
⑫ 走行レバー	走行用の動力伝達レバーです。チェンジレバーを入れた上で、レバーを「入」にするとブレーキが解除され車体が動きます。レバーを「切」にすると車体が止まり、車輪にブレーキがかかります。		



4. シール貼付位置

- 当社の機械には、特に重要な危険事項に対し注意シールが貼付されています。使用に際してはシールの意味を十分にご理解いただいたうえで注意事項を守ってください。
- 警告シールが見えにくくなったり、破損した時は新しいシールを販売店より取り寄せ、指定場所に貼りかえてください。

注意シール		操作シール	
注油 (C095-004-A)		シフトレバーシール (C113-003-A)	
排出口の回転刃に注意 (C095-005-A)		停止スイッチシール (C113-005-A)	
送りローラーの巻き込まれ注意 (C095-006-A)		チェンジレバー位置スイッチシール (C113-006-A)	
チップの回転刃に注意 (C095-015-A)		作業レバーシール (C113-007-A)	
ベルトの巻き込まれ注意 (C095-009-A)		走行レバーシール (C113-008-A)	
やけど注意 (C113-009-A)			
		仕様シール	
		仕様銘板シール (C113-004-A)	



5、運転操作

5 — 1 運転準備（給油）

警告：火災

- エンジンを停止し、完全に冷えてから注油をしてください。
- くわえタバコや裸火照明は燃料に引火する場合がありますのでしないでください。
- 燃料は規定以上入れないでキャップは確実に締めてください。万一こぼれた場合はきれいにふきとってください。

注意事項

- ：エンジンの取扱説明書をよくお読みください。

- ①オイルの点検をしてください。
 - ・走行ミッションには、潤滑油が入っております。
（油量0.7ℓ・ギヤオイルSAE#90・交換は年1回）
 - ・エンジンにはエンジンオイルが入っております。
オイルのグレード・量はエンジンの取扱説明書を参照してください。
- ②燃料（無鉛ガソリン）を給油してください。

5 — 2 運転

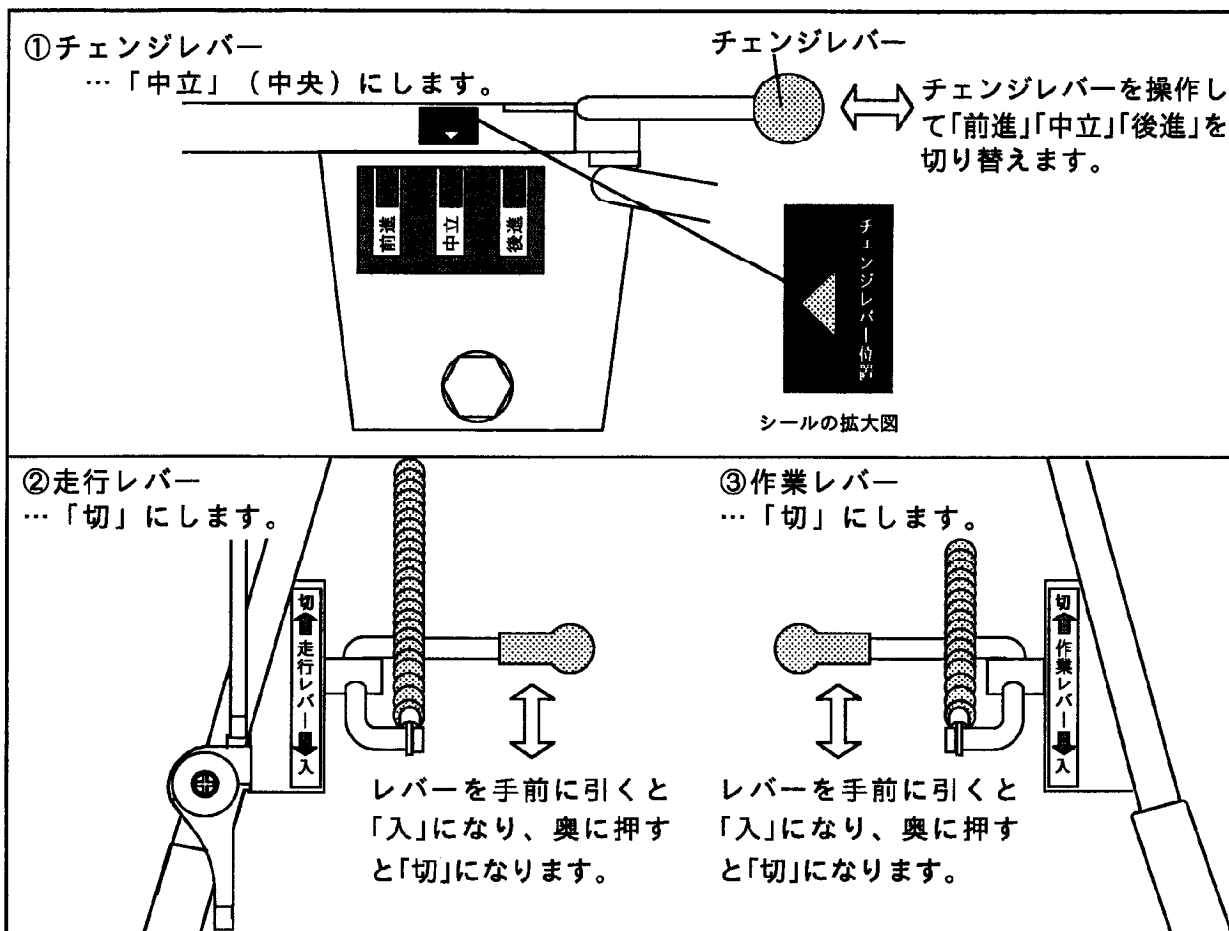
警告：けが

- 周囲の安全を確認し、低速で発進してください。
- 坂道ではサイドクラッチレバーを使わないで旋回ハンドルを振って行なってください。
- ベルトカバーやサイドカバーを外したまま運転をしないでください。
- 走行しながらの作業はしないでください。

注意事項

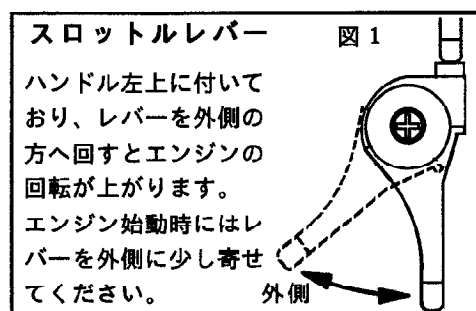
- 走行レバー、作業レバーは静かに入れてください。急激なレバー操作は事故やエンジンの原因となります。
- エンジンの取扱説明書をよくお読みください。

(1) エンジンを始動する前に



(2) エンジンの始動

- ①燃料コック……………「開」にします。
- ②エンジン停止スイッチ…「復帰」側に回します。
- ③チョーク……………「閉」にします。
- ④スロットルレバー……………外側に少し寄せます。図 1
- ⑤リコイルハンドル……………素早く引いてください。



(3) 運転(起動したら)

- ①チョークレバーを徐々に開きます。最後は全開にしてください。
- ②しばらく暖気運転を行なってください。
- ③スロットルレバーを適正回転に合わせます。

(4) 走行

- ①チェンジレバーを前進、または後進の位置にします。
- ②スロットルレバーをやや低速気味にします。
- ③走行レバーを手前に徐々に引き上げます。
- ④スロットルレバーの操作で速度調節をします。
- ⑤走行中の方向転換は、ハンドルの左右に装備されたサイドクラッチレバーを握れば、操作した方向に向きを変えます。

(5) 走行停止

- ①スロットルレバー……………徐々に低速にします。
- ②走行レバー……………「切」方向（前方）に押すことにより、走行が停止するとブレーキがかかります。
- ③チェンジレバー……………「中立」（中央）にします。
- ④エンジンスイッチ……………「OFF」にします。
- ⑤エンジン燃料コック……………「閉」にします。

5 - 3 粉碎作業



警告：けが

- シュレッダーホッパー、チップホッパー、排出口の内部には手を入れないでください。作業レバーを「切」にしても回転刃はすぐに止まりません。回転刃が完全に停止したのを確認して次の作業をしてください。
- 運転したまま供給物を引っ張ったり、押し込んだり付着物を手でとったりすることはしないでください。回転部に巻き込まれます。
- 室内および換気の悪い場所での作業は排気ガスが充満するためしないでください。
- 作業は必ず平坦な場所で行なってください。
- 排出口の方向は人や動物に向けないでください。また、排出口をのぞいたり近寄ったりしないでください。破砕物が飛んで危険です。

注意事項

- 傾斜地に停車するときや、作業中は走行レバーを「切」にしてください。
- 供給物の中に、石、金属、ビニール製品等が混入していると、思わぬ事故や機体の破損を招く恐れがありますので、十分注意してください。
- エンジンが高回転のときに、作業レバーを急に「入」にしたり、スロットルレバーの操作を急激に行なうと、ベルト等が破損することがありますので、出来るだけ避けてください。
- 内部の切りくず、軸部の巻き付きなど取り除いてください。
- 作業中、作業レバーを「切」にする場合は、非常時をのぞいて供給物がなくなっただけからにしてください。
- 供給物は均一に丁寧にいれてください。
- 緊急時には作業レバーを「切」の状態にしてください。

- ①エンジンを始動します。
- ②スロットルレバーは、やや低速位置で、エンジンの回転数をあまり上げないでください。
- ③作業レバーを徐々に「入」方向（手前）に引き上げます。送りローラーが回転します。
- ④スロットルレバーを徐々に高速にし、所定の回転数にしてください。

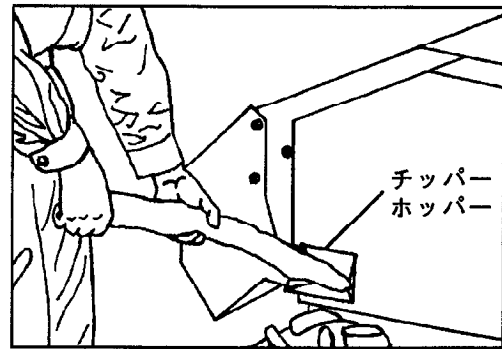
(1) フリーハンマーでの粉碎

- ①供給物をシュレッダーホッパーより、供給してください。
- ②送りローラーでハンマー部に送り、粉碎後排出口より排出します。
- ③直径40ミリ位までの枝、葉類を処理します。



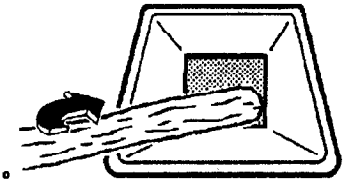
(2) サイドカッターでの粉碎

- ①直径65ミリまでサイドカッターで処理できます。図6のようにサイドホッパーへ、1本ずつゆっくり回しながら押し込んでください。サイドカッターで切断して排出口から排出します。
 - ②枝が短くなったら危険ですので、無理に押し込まないでシュレッダーホッパーへ入れてください。
- ・排出口の下には、粉碎物が積もりますので適宜排除してください。
 - ・粉碎物がハンマー部まで積もると、粉碎が出来なくなることがあります。
 - ・運転中は危険ですから、絶対にチップホッパーに手を入れないでください。



※注意

チップホッパーの左縁に処理材を押し当てながら、斜めに押し込んでください。

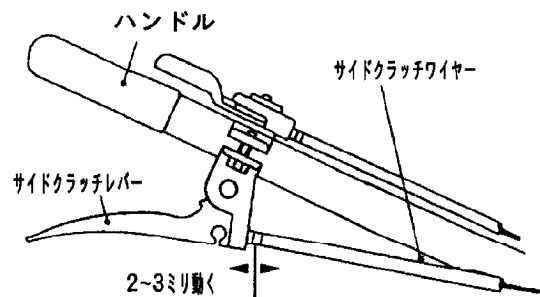
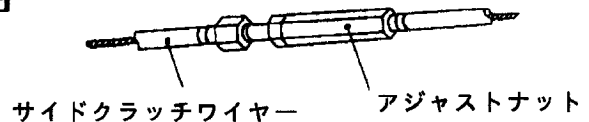


6、各部の調節・操作

6-1 ワイヤーの調節

(1) サイドクラッチワイヤーの調節

サイドクラッチレバーを握った状態ではタイヤが軽く廻り、レバーを放すと動かなくなるようにします。ワイヤーが2~3ミリ動く余裕がある程度に、左右のワイヤーに装備されたアジャストナットにてワイヤーの長さを調節してください。



(2) ブレーキワイヤーの調節

走行レバーが「切」の状態では駆動輪が廻らなく、「入」の状態では、軽く廻るようにします。アジャストナットにてワイヤーの長さを調節してください。調節が悪いとミッションのトラブルやブレーキが効きすぎたり、効かなくなったりします。

6-2 エンジン

注意事項

- エンジンについての取り扱い、調節、点検、整備等の具体的な内容は、エンジン取扱説明書に従ってください。

ハンドル部に装備されたスロットルレバーを、外側に操作すればエンジン回転が高速となり、内側に操作すれば低速となります。

7、整備・点検・清掃

⚠ 警告：けが

- 点検、整備、清掃する場合は、必ずエンジンを停止してから行なってください。
- 点検、整備、清掃終了後安全のためカバー類はもとのように確実に取り付けてください。
- 点検、整備、清掃する場合は、必ずエンジン等が十分冷えてから行なってください。やけどの危険があります。
- エンジン及びエンジンの周囲はいつもきれいにし加熱による火災を防止してください。
- エンジンの冷却ファンを山草、枝類、ワラ等で目詰まりさせるとオーバーヒートの原因となりますので、エンジンは絶えず清掃してください。

注意事項

- 各主要部の伝動は、Vベルトを使つてのテンションクラッチ方式です。頻繁に点検し、こまめに調節することが、ベルト耐久力を維持する秘訣です。
- 負担変動が大きく振動が激しいので、ネジの緩みが発生しやすくなります。点検、締め増しを怠らないでください。

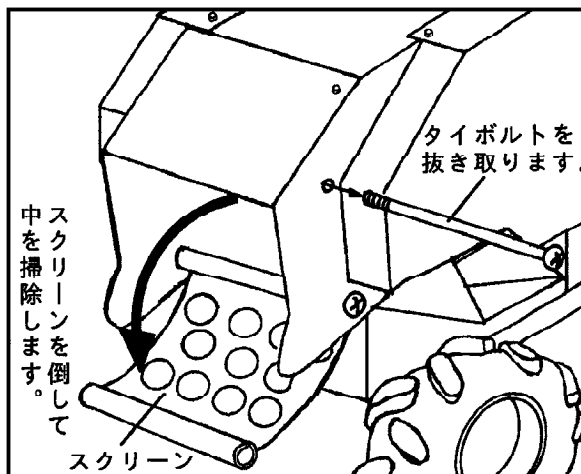
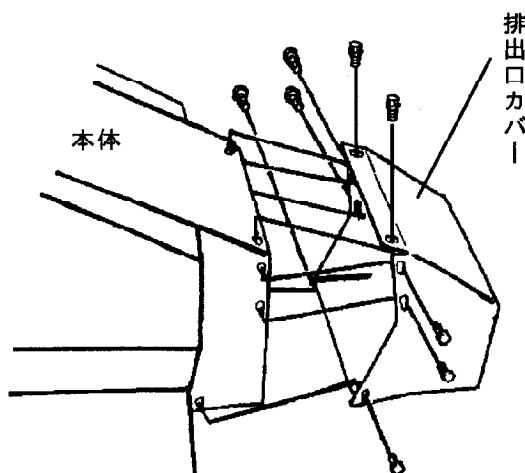
7 - 1 清掃

作業が終わりましたら運転を停止し、機体に散在した粉砕片、ゴミ、チリをきれいに
取り除いてください。

特にエンジン周辺及びエアクリーナーは、必ず点検、清掃してください。

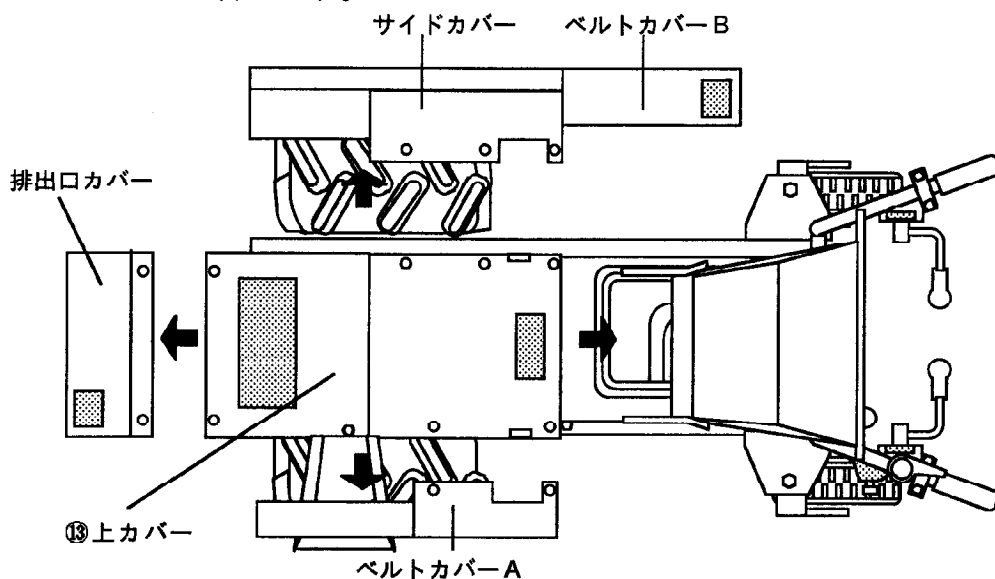
(1) 粉砕部の清掃

- ①まず、排出口カバーを外します。
- ②スクリーンを固定している上部のタイボルトを抜いてください。
- ③上部のタイボルトを抜いたスクリーンを前方に倒します。
- ④スクリーンを倒したら粉砕部の中をきれいに掃除をしてください。

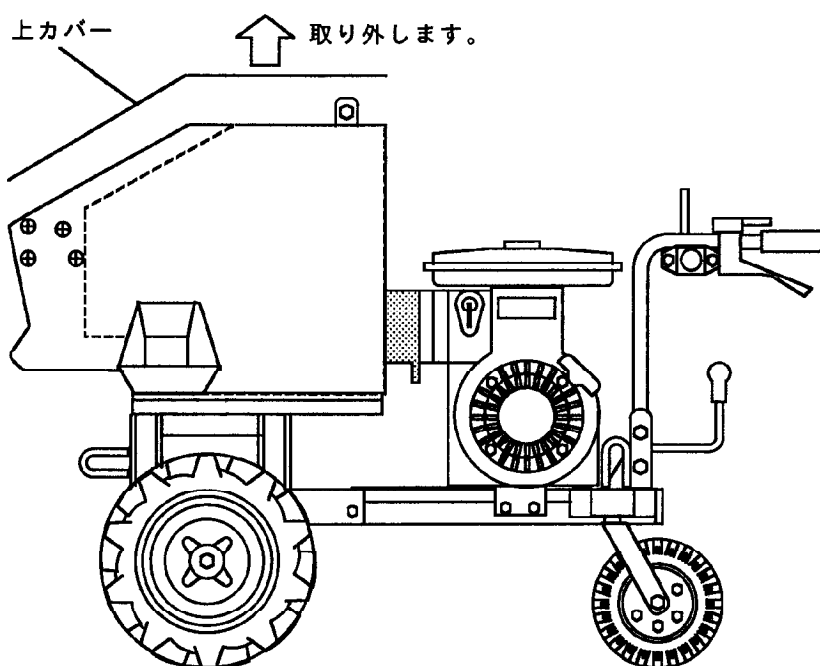


(2) 粉碎部上部の清掃

上カバーを外す前にシュレッダーホッパー・排出口カバー・サイドカバー・ベルトカバーA・Bを外します。



最後に上部カバーを外し、中にたまったゴミを取り除いてください。
ゴミがたまり過ぎますと、送りローラのアームがスムーズに作動しなくなります。



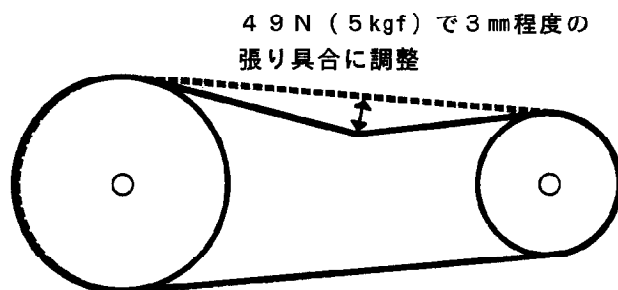
7-2 注油

次の箇所へ、粉碎屑、ホコリ等をきれいに清掃して、定期的に注油をしてください。

- ① 送りローラチェン（供給ローラ伝動）
- ② 走行テンション及び、作業テンションのアーム軸、レバー軸の軸受部
- ③ サイドクラッチワイヤー、ブレーキワイヤー及び接続部

7-3 Vベルトの点検

①ベルトカバーA・Bを外してVベルトの張りを確認して下さい。



②Vベルトに亀裂や摩耗等が発生しましたら取り替えてください。

〈Vベルト規格〉

エンジン——ミッション：A-52 レッド

エンジン——中間軸：B-41 レッド

中間軸——主軸：B-32 レッド

③Vベルトの交換は、お買い求めの販売店か弊社営業所にお申し付けください。

7-4 チェンの点検

①送りローラー用チェンを点検し、亀裂や伸びが無いか点検してください。

②チェンの交換は、お買い求めの販売店か弊社営業所にお申し付けください。

〈チェン規格〉

送りローラー用：No.35-71リンク+ジョイントリンク

7-5 ネジのゆるみ点検、締め増し

エンジン、エンジンベース、ハンドル、その他

7-6 フリーハンマーの点検

フリーハンマーが摩耗した場合は、表裏を反転し逆に組み替えてください。(ハンマーは両面使用できます。)

7-7 サイドカッター刃の研磨、交換


材料の切れが悪くなったら、刃を反転し組み替えてください。(刃は両側使用できます)
注：部品交換や研磨をする場合は、ご購入の販売店にご相談ください。

8、保守

使用後は次ぎの要領で手入れをしてください。

1. 粉碎物の残りを取り去り、各部の掃除をしてください。
2. ボルト・ナット類の弛み等を点検し調節の必要があれば行なってください。
3. 注油箇所には汚れを取り除き、必ず注油してください。
4. クラッチ類は「切」の位置にしてください。
5. 長期間保管する時は、ワイヤーの露出部にグリスを塗布して防錆してください。
6. 保管の場合シート等で機械を覆い、乾燥した屋内に保管してください。

9、こんなトラブルが起こったら

<p> 警告：けが</p> <ul style="list-style-type: none"> ●点検、整備、清掃をする時は、必ずエンジンを停止してから行なってください。 ●点検、整備、清掃をする場合は、必ずエンジンやマフラー等が十分冷えてから行なってください。やけどの危険があります。

現象	原因	処置
フリーハンマー、 サイドカッターが 回らない	Vベルトが外れている。	かけなおす。
	テンションプーリが外れている。	かけなおす。
	粉碎部に粉碎物がつまっている。	スクリーンを開き、粉碎物を取り除く。
運転中エンジンが 停止する	供給物の入れ過ぎ。	供給物を取り除き、再度エンジンを始動し、作業は適量ずつ供給する。
	燃料パイプのつまり、又はふさがり。	エンジンの点検・清掃。
	燃料が無くなっている。	燃料を補給する。
排出口が詰まる	排出口の中へ粉碎物が堆積。	排出口の前の堆積物を取除く。
	回転数が少ない。	スロットルレバーで回転数を上げる。
異音がする	油が切れている。	注油する。
走行しない	走行ベルトが外れている。	かけなおす。
	テンションプーリーが外れている。	かけなおす。

保証書 (Type-B)

このたびは新ダイワ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただいた製品につきましては、つぎの通り保証いたします。

1. 保証期間

無償保証修理を受けられる期間はお買い上げ日から1年間といたします。但し、つぎの使用開始後の累計時間を経過したものは保証いたしかねます。

- ・発電機 ①10 kW未満は600時間 ②10 kW以上は1,000時間
- ・エンジン溶接機 ①ガソリンエンジンは600時間 ②ディーゼルエンジンは1,000時間

2. 保証内容

保証期間に通常の使用状態で本機を構成する部品に材料または製造上の不具合が発生し、弊社がこの欠陥を認めた場合にかぎり、修理を無償でいたします。

3. 保証の適用除外

つぎに示すような場合は保証期間中であっても有償修理となります。

- (1) 取扱説明書に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検、保管方法を行なわなかったために生じた故障
- (2) 弊社が示す仕様の限度をこえて使用したために生じた故障
- (3) 弊社が認めていない改造・変更が原因となって生じた故障
- (4) 弊社のサービス指定工場および弊社が認めたところ以外で修理し、それが原因で生じた故障
- (5) 弊社の純正部品以外の部品を使用したために生じた故障
- (6) 時の経過による変化（塗装面・メッキ面の自然退色、発錆など）
- (7) 一般的に品質、機能および安全上に全く影響がないと認められる音、振動、オイルのにじみ、外観上の軽微なキズなど
- (8) 自然災害または事故、過失、不注意による本機の損傷
- (9) 一般消耗品等で使用上における自然摩耗と認められるもの
- (10) バッテリー溶接機、エンジンスターターなどに使用されるバッテリー
- (11) 製品が日本国外で使用された場合

4. 注意事項

- (1) 本保証書の提示なき場合または記載内容の不備あるいは改訂のある場合は保証しかねる場合があります。
- (2) 本機の故障に起因するまたは関連するあらゆる損失および費用は保証の範囲から除外させていただきます。
- (3) 保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

機種(型式名):		製造番号:	
お買い上げ日:		年	月 日
お客様	お名前:		印
	おところ: 〒		
	TEL:	ご職業:	
販売店	住所:		
	店名:		
	TEL:	印	

新ダイワ工業株式会社
広島市安佐南区大塚西6丁目2-11



新ダイワ工業株式会社

本 社	〒 731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL 082-849-2001
札幌営業所	〒 065-0033	札幌市東区北三十三条東17丁目4-17	TEL 011-783-7551
仙台営業所	〒 984-0042	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45	TEL 022-239-1688
郡山営業所	〒 963-0107	福島県郡山市安積4丁目48-1	TEL 024-945-8678
盛岡営業所	〒 020-0122	岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5	TEL 019-641-3416
東京営業所	〒 134-0083	東京都江戸川区中葛西6丁目17-8	TEL 03-3687-5771
千葉営業所	〒 264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19-1	TEL 043-214-0260
多摩営業所	〒 192-0043	東京都八王子市暁町2丁目6-3	TEL 0426-20-5590
横浜営業所	〒 222-0025	神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33	TEL 045-431-7786
厚木営業所	〒 243-0014	神奈川県厚木市旭町5丁目47-18	TEL 046-228-2243
静岡営業所	〒 422-8046	静岡市中島2834-1	TEL 054-282-7012
さいたま営業所	〒 331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目19-4	TEL 048-666-2521
宇都宮営業所	〒 321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28	TEL 028-656-8737
土浦営業所	〒 300-0815	茨城県土浦市中高津1丁目12-48	TEL 0298-24-5212
前橋営業所	〒 371-0037	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	TEL 027-234-5956
長野営業所	〒 381-0043	長野市吉田5丁目24-16	TEL 026-244-3970
松本営業所	〒 390-0313	長野県松本市岡田下岡田73-8	TEL 0263-45-1005
新潟営業所	〒 950-0892	新潟市寺山3丁目32-12	TEL 025-275-5616
名古屋営業所	〒 454-0826	愛知県名古屋市中川区小本本町1-75	TEL 052-362-2281
浜松営業所	〒 435-0053	静岡県浜松市上新屋町231-6	TEL 053-467-0394
津営業所	〒 514-0823	三重県津市大字半田池町590-5	TEL 059-227-2716
岐阜営業所	〒 500-8367	岐阜市宇佐南4丁目2-4	TEL 058-271-4015
金沢営業所	〒 920-0016	石川県金沢市踏江町中丁344	TEL 076-237-1230
大阪営業所	〒 556-0022	大阪市浪速区桜川4丁目11-20	TEL 06-6561-8484
和歌山営業所	〒 640-8482	和歌山市六十谷1234-7	TEL 073-462-7277
京都営業所	〒 601-8304	京都市南区吉祥院前河原町1	TEL 075-321-0141
姫路営業所	〒 670-0974	兵庫県姫路市飯田2-88	TEL 0792-33-6838
松山営業所	〒 790-0064	愛媛県松山市愛光町9-14	TEL 089-922-8886
高松営業所	〒 761-0101	香川県高松市春日町片田1638-7	TEL 087-843-1201
広島営業所	〒 731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL 082-849-2400
防府営業所	〒 747-0031	山口県防府市迫戸町5丁目25	TEL 0835-27-0575
岡山営業所	〒 700-0965	岡山市西長瀬261-104	TEL 086-241-3013
福岡営業所	〒 812-0006	福岡市博多区上牟田3丁目5-22	TEL 092-411-9801
小倉営業所	〒 803-0826	福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8	TEL 093-561-3422
諫早営業所	〒 854-0062	長崎県諫早市小船越町1021-3	TEL 0957-23-3341
大分営業所	〒 870-0155	大分市高城南町7-13	TEL 097-552-1745
熊本営業所	〒 862-0910	熊本市健軍本町7-17	TEL 096-365-0484
宮崎営業所	〒 880-0022	宮崎市大橋3丁目134-2	TEL 0985-23-2126
鹿児島営業所	〒 890-0073	鹿児島市宇宿2丁目23-18	TEL 099-257-6801